

令和8年度杉並区立神明中学校学校経営方針

杉並区立神明中学校 校長 松浦 素明

教育目標	創 造 自ら将来に向けて「自己実現のために学び続ける」	鍛 錬 自らを高めるために「粘り強く頑張る」	共 生 自他に対して「思いやりがあり豊かな心を育む」
校 訓	自 主 自らの力で考え、判断し、行動する		自 律 規範意識を高くもち、公共の利益や他者への配慮を考えて行動する

《杉並区教育ビジョン2022の具現化を目指して》
《みんなのしあわせを創る杉並の教育》
「共に尊重し大切にしたいこと」を踏まえた教育活動の展開
・学び合い、信頼をつくり、共に生きる
・ちがいを認め合い、自分らしく生きる
・誰もが社会の創りてとして生きる
「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を踏まえた教育活動の展開
① 子どもの思いを尊重する ② ちがいを受け入れる ③ 対話を大切にする
④ 学びの成果を贈り合う ⑤ 社会を創る当事者として考える

学校経営のスローガン

BE-GO

（理想の自分・理想の学校に向かって前進する）
～すべての人のウェル・ビーイングを目指して～

《教育目標達成の基本方針》
①主体的な学び、個別最適な学びと協働的な学びの充実に取り組む。
②心と身体を鍛錬し、豊かな感性、向上心や責任感、連帯感を育む。
③生命尊重、豊かな人間性や健全な社会性・協調性と高い規範意識を育む。
④他者とのちがいを認めて、いじめを許さず、社会への変化に対応できる生徒を育成する。
⑤地域人材を活用しながら地域と連携した教育活動の充実を図る。
⑥全ての生徒にとって安全で学びやすい教育環境を整備する。
⑦小中7年間を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育を図る。

～新校舎完成と創立80周年に向けて～

- ①生徒が多様な価値観に触れ、広い視野に立った学びの実現を目指す。
○主体的な学び、個別最適な学びと協働的な学びの実現
○1人1台専用タブレット端末等の効果的な活用
○情報モラル教育の充実
○朝読書をととした読解力の向上と豊かな感性の育成
- ②学校行事等をととして自主の精神と豊かな心の成長を目指す。
○生徒会・実行委員会を中心に生徒が主体的に取り組む行事の実施
・体育大会、文化発表会、修学旅行、スキー教室、
校外学習、新入生歓迎会、三年生を送る会
○生徒会活動、委員会活動、係活動、部活動の充実
- ③地域とともに成長する学校を目指す。

- ①課題予防的生徒指導の充実
○「いのちの教育」の実施、セーフティ教室・情報モラル教育の充実、人権意識の醸成、WebQ Uの活用
○いじめ防止対策基本方針に基づく、いじめの未然防止、早期発見・事案対処及び重大事態への組織的な対応
- ②個に応じた指導の充実
○特別支援教室や不登校別室指導等の支援体制の充実
（校内委員会を中心とした組織的な対応）（合理的配慮）
○教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制
（SC、SSW）の充実、校内委員会での検討
- ③学校安全体制の徹底
○アレルギー対応、仮設校舎における危険個所の点検による安全の確保、避難訓練、不審者対応訓練



- ① 地域等外部人材を活用した体験的教育活動充実
（PTA、学校支援本部や地域教育推進協議会等と連携・協力）
1年 フレンドシップスクール、震災救援所訓練
弁護士によるいじめ防止授業
2年 職場体験、食育授業、
3年 面接練習、食育授業、救命救急講習、合格祈願
共通 神明祭への参加、セーフティ教室、神明塾、サタスタ
神明クラブ、防災子どもまつりへの参加
- ②「Diversity（多様性）」を認め合う共生社会の実現に向けた取組の充実
○伝統文化「茶道体験」、「和楽器の演奏」
○副籍交流
○小中連携活動「遊びのフェスタ」

- ① 教職員のウェルビーイングの確保
○教育課程の適正な管理
○教職員のキャリアや能力等に応じた適正配置
○働き方改革の推進、会議・打ち合わせの持ち方の見直し、
校務システムの有効活用
○部活動を学校支援本部型部活動「神明クラブ」への移行
○ICT支援員、スクールサポートスタッフ、学習支援員等
による校務支援体制の充実
○OJTによる人材育成の推進
○研修、自己研鑽による資質・能力の向上
○東京都や杉並区による教職員の相談窓口の活用
- ②サービスの徹底
○研修等を活用した服務事故の防止
○複数決裁による会計等、事務手続き上の事故予防